



【容環協 メールマガジン】



2016年3月 vol.6

【全国牛乳容器環境協議会】



寒さも緩み、桜の便りも聞こえるようになってきましたが、多くの組織では年度末を挟み、さまざまな業務などで、いつも以上にお忙しい毎日をお過ごしかと思います。

また、新たな生活でストレスが増えてしまうこともありますよね。

こんな時にも牛乳は強い味方ですので、ご自身はもちろん、是非、ご家族やご友人などにも積極的に勧めしてください。



今回は、容環協の活動の中でも最も重要な取組みの一つである「飲料用紙パックのリサイクル促進意見交換会」と、行政・NPO・流通企業・容環協の四者協働の取組み事例をご紹介します。



●「第28回 飲料用紙パックのリサイクル促進意見交換会」

今回で28回目を迎えた紙パックリサイクル促進意見交換会が2月4日に経済産業省、農林水産省、文部科学省、自治体及び自治体関係、市民団体、NPO 再生紙関連企業・団体、古紙回収企業・団体等関係する58名の方々が出席し、東京の乳業会館会議室で開催されました。

最初に岸田会長から本会の目的や経緯を述べ、容環協の紙パックリサイクル行動計画「プラン2015」の進捗状況と次期計画である「プラン2020」を策定中であることを紹介しました。

国からは循環型経済(サーキュラ・エコノミー)の考え方、市民の方々が紙パックをいかに資源として考えて頂くかが、紙パックの分別単独回収促進に繋がるのではないかと、との話がありました。

容環協の取組み状況報告として「飲料用紙容器リサイクルの現状と動向に関する基本調査」を元に紙パック回収率が44.7%になり、使用済み紙パックの回収率も上昇、取引価格も上昇傾向にあるなど動向について説明しました。続いて、各専門委員会(総務・広報・イベント・支部組織)から活動状況を報告しました。

意見交換では、再生紙メーカーからは家庭系の回収紙パックの入荷量がなかなか増えない、輸出に回る分もあり国内原料の不足が大きな課題等の提起がなされ、NPO からは雑がみなどに混入される紙パックを減らすためにもっと市民への啓発が大切、混入率は1.1%としても量としてはかなりの回収量になるので積極的に啓発する必要があるなどの意見がありました。全国パック連の平井代表からは、自治体に情報が行き渡っていない現状があり、もっと自治体へのアピールが必要、自治体から委託を受けている回収業者さん他を通して啓発効果を上げることも必要ではないかなど意見をいただき、市民・

自治体への啓発、輸出に関する事など活発な意見交換となりました。

最後に容環協から、他の古紙への混入を防ぐため分別の原点に戻って各主体との連携をさらに促進できるように再検討することを表明し結びとしました。

● 相模原市ごみ DE71 大作戦「牛乳パックでグリーティングカードを作ろう」

相模原市主催のキャンペーンに、毎年、全国パック連と容環協が参加して啓発活動を行っていますが、今年は商業施設のアリオ橋本で3月19日に実施しました。



10時開店と同時にイベントのひとつである“使用済み紙パックとボックスティッシュの交換”に家族連れが訪れ、その後も興味を持ってパネル説明や

クイズに挑戦する方も多く、紙パックリサイクル啓発の成果に繋がる手ごたえが感じられました。分別戦隊シゲンジャー銀河の“ペーパーピンク”と“レモンちゃん”の登場で、会場は大盛況となりました。使用済み紙パックのパルプを原料にした、手すきによるグリーティングカードづくりに182名、飲み終えた牛乳パックの手開き体験に135名、パネル説明とクイズに159名参加いただき、大変盛況でした。小さなお子様にも手すきオリジナルカードづくりを楽しんでもらえ、嬉しそうに持ち帰られた姿に和みました。



★お知らせ

新規製作の「クイズ用タペストリー(保管用筒入り)」の貸出の申込みを随時受け付けています。

また、「リサイクル品トイレトペーパー」も、一定の要件で随時提供しています。

詳しいことは、事務局までお問合せください。



ご登録の修正・変更につきましては 事務局までご連絡ください。

(TEL 03-3264-3903 FAX 03-3261-9176 info@yokankyo.jp)

全国牛乳容器環境協議会 事務局

〒102-0073 東京都千代田区九段北1丁目14番19号

TEL 03-3264-3903 FAX:03-3261-9176

MAIL info@yokankyo.jp

HP <http://www.yokankyo.jp>

